

Presentationの技術 (Part 1)

(財)道路保全技術センター
多田宏行

1

Presentation

(情報の伝達手段)

- 1、言葉 会話による
- 2、ラジオ、テレビ、電話による
- 3、文章 印刷物による

2

優れた**Speech**が
出来るようになるには
どうしたらよいか？

3

本当の事を言うと

多くのSpeakerは
話が下手であることを
全く自覚していない

何故か？

4

あなたは
他人の欠点を
注意して上げますか？
誰も教えて呉れない

5

話す (言葉) 聴く **見る**
言う (言葉)
書く (言葉) 読む

6

Speechの目的

1. 情報を与える。
2. 説得し、行動させる。
3. 感銘を与え、楽しませる。

7

話が面白いか、つまらないかを
判断するのは聞き手である。

聴衆把握

事前の情報収集
刻々の反応を読みとる

8

話がつまらない理由は？

1. テーマが判っきりしない
2. 内容が難しすぎる
3. 知っている事ばかり
4. 聴きとり難い
5. 話し手の一人よがり
6. 時間が長過ぎる

9

事前調査

- . 期待されるものは何か
- . 出番前後の状況は？
- . 会場 (大きさや設備)
- . 聞き手の性格を知る
 - a. 人数 性別 b. 職業・年齢
 - c. 知的レベル d. 受講動機

10

聴き取り難い原因

- . 話す速さ 1分間300字
- . 発音が不明瞭
- . 口癖が耳障り

11

話す速さ

- . 適当な間をおく
生理的、論理的、心理的
- . 内容と緩急
強調したい部分 ゆっくり
既知と思われる部分 やや早め

12

上がる原因

- .数の圧迫
- .未知に対する不安
- .過去の失敗経験
- .劣等感
- .準備不足

13

口癖の例

「あの」「その」「え～」「え～と」「まあ」「とか」「やはり」「らしい」「つまり」「わけです」「ですね(よ)」「ですから」「ございます」「それで～」「ね」

14

話し手の一人よがり

場慣れしているだけ
上手なわけではない
得意だから始末が悪い

15

下品な言葉を使うな

美しい言葉は
日常の会話の
積み重ねから
自然に身に付く

16

映像は補助手段に過ぎぬ
手段と目的を混同するな
話し手の思いは
聞き手に見抜かれる
情熱に優る技巧はない

17

Impact and believability

Verbal : words

Vocal : loudness of voice,
intonation, etc

Visual : eye contact,
speaker's stance,
all that the listener sees

18

効果的な方法

自分のスピーチを
録音して聞いてみると
話し方の重要性に気付く